



少ない手間で AI を学習する技術

パターン認識, 機械学習, コンピュータビジョン

情報科学研究科 システム工学専攻

助教 原田 翔太 Shota Harada

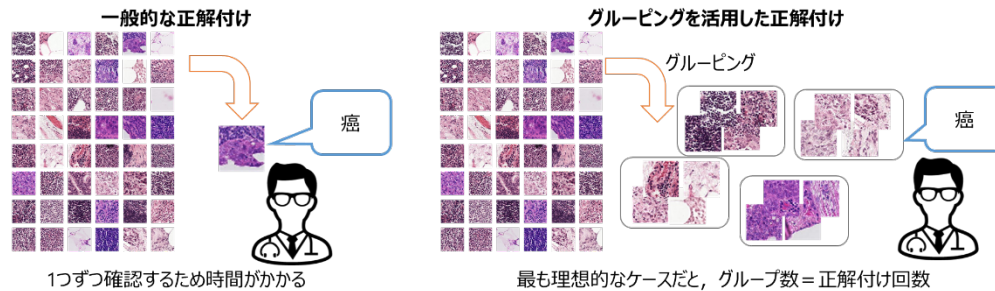
研究シーズの概要

AI と呼ばれ注目されている深層学習技術の進歩は驚異的であり, 様々な分野で導入されています. しかし, 高精度な AI を実現するには, 「正解」が与えられたデータが大量に必要となります. できるだけ正解を付ける作業の手間を減らしながら高精度な AI を実現するための研究に取り組んでいます.

研究シーズの詳細

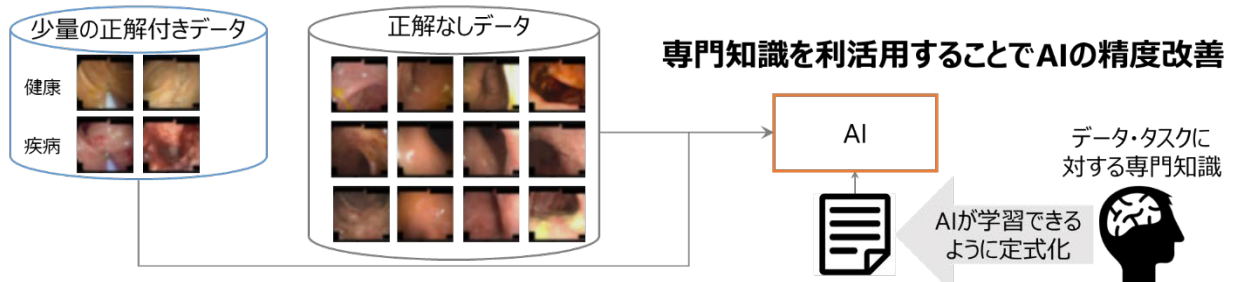
◆研究例 1◆

少ない手間で正解付きデータセットを構築する技術



◆研究例 2◆

少ない正解付きデータで AI を学習する技術



想定される用途・応用例

- ◆AI を学習したいが, 大量にあるデータの内の一部にしか正解が付いていないケース
- ◆専門知識による判断を行う AI の構築 (医用画像の疾病診断など)
- ◆正解付けに専門知識を伴う場合や, 他者に公開できないデータに対して AI 学習用の正解付けをしたいケース

セールスポイント

様々な分野で活用されはじめている AI 技術ですが, 一般的に AI を学習するためには「正解付きデータ」が大量に必要となっています. これが AI の導入を阻んでいる大きな壁の 1 つだと思います. 本研究室は, 正解を付ける手間 (負担) をなるべく減らしながら, 高精度な AI を構築することを目的として研究しています. AI を導入してみたいが, 正解付きデータが少ししかない, もしくはデータは大量にあるが正解が付いたデータがない, といった状況に本研究室の技術は貢献できるかもしれません. ご興味がありましたらご連絡ください.

問い合わせ先: 広島市立大学 地域共創センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

(情報科学部棟別館 1F)